



# 2009年FISフリースタイルスキー 世界選手権 猪苗代大会

2009年3月2日～8日

フリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会だより 第32号

## 本大会におけるカーボンオフセットへの取り組み

※カーボンオフセットとは・・・日常生活で必ず出てしまうCO2。これを吸収する木を育てることで出してしまうCO2(カーボン)を埋め合わせ(オフセット)すること。例えばCO2の排出量に応じた額の募金をし、森林を育てて埋め合わせするなどです。

◎期間：2009年3月2日～8日 ◎対象：福島県猪苗代町・磐梯町内の6施設

### 1 大会中のCO2排出量の削減努力

(大会運営) 公共交通機関・エコカーの使用、ごみの減量など  
(各施設における自然エネルギー利用検討) 温泉排湯利用ヒートポンプ導入検討など

### 2 大会中のCO2排出量の把握

大会期間中に各競技会場、宿泊会場等から排出されるCO2を過去の大会時からの推計により把握し、オフセットすべき排出量を算定する。

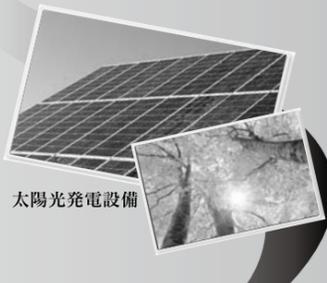
### 3 グリーン電力証書によるオフセット

大会期間中のCO2排出量をグリーン電力証書によりオフセットする。  
郡山布引高原風力発電所や太陽光発電設備などで生み出された自然エネルギーの環境価値分をグリーン電力証書としてオフセットに利用する予定。

### 4 CO2排出削減の呼びかけ(普及啓発)

・大会参加選手がメッセージを発信し、本大会における地球温暖化対策への取り組みをアピール  
・大会会場でのチーム・マイナス6%への参加募集

今大会では、大会理念の「自然との共生」に基づき、上記の事業を展開していきます。  
町民の皆さんも、この大会を機に地球環境を守る大切さについて考えていただければ幸いです。



太陽光発電設備



大会会場で選手によるメッセージの発信

## 全日本選手 世界選手権へ向け始動

2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会の100日前記念イベント「全日本フリースタイルチーム応援のつどい」が終わり、選手たちはすぐにワールドカップへ向けて出発しました。

12月18日にはフランスでモーグル、19日・20日には中国でエアリアルが行われました。日本ではまだお正月気分が1月5日にはオーストリアでスキークロスが行われ、選手には年末年始など関係ありません。

世界選手権では、国によって出場枠が決まっているため、ワールドカップに出場していても必ずしも出場できるわけではありません。よって、日本人同士の代表争いもヒートアップしてきます。

厳しい戦いを勝ち抜いてきた、えりすぐりの「つわもの」たちが繰り広げる

「2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会」

ぜひ生で観戦して、その雄姿を目に焼き付けてください。

※ワールドカップのスケジュール及び結果等は、大会オフィシャルチャンネルでご覧になれます。

【アドレス <http://fisfreestyle.channel.yahoo.co.jp>】



昨シーズンワールドカップ総合優勝の上村選手。絶好調で世界選手権を迎えてほしい!!

## 競技紹介(エアリアル)

2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会の2種目目として3月3日(火)に予選、4日(水)に決勝が行われるエアリアル(会場: リステルスキーファンタジア)。

1986年の第1回世界選手権フランスティニュー大会から行われている種目で、1994年のリレハンメル五輪からオリンピック正式種目になっています。

ストックを持たずに「キッカー」と呼ばれる鋭角で大きなジャンプ台から飛び出し、空中での技の難易度・完成度を競う競技です。

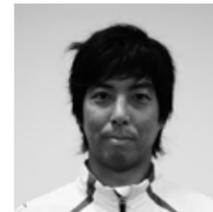
アクロバティックなショー的要素があり、誰でも楽しく観戦できると思います。エアリアルはチケット1枚で3日の予選と4日の決勝の両方を観戦する事ができます。鳥人たちの技の競演をぜひご覧ください。

日本人選手では、水野剣選手・倉田孝太郎選手・西川史朗選手・田原直哉選手等が出場予定です。



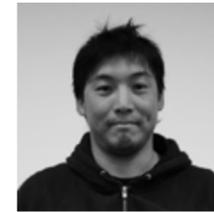
水野剣 選手

FISランク C  
富山県富山市出身  
怪我から復活した日本のエース



倉田孝太郎 選手

FISランク W  
埼玉県鷲宮市出身  
08W杯「カブ」(フィバー)12位



西川史朗 選手

FISランク W  
東京都国立市出身  
08ワールドカップ出場



田原直哉 選手

FISランク W  
和歌山県和歌山市出身  
猪苗代在住の選手



## 競技紹介(ハーフパイプ)

大会の3種目目は、3月5日(木)に行われるハーフパイプ(会場: アルツ磐梯)。

円柱を半分にしたようなコースを振り子のように滑り、両サイドの壁を利用してジャンプして、空中でのパフォーマンスを見せる競技です。1演技で飛び回数は4~5回程度で、何度目にどんな技を出すかなどの全体の構成も楽しみの一つ。

スノーボードのハーフパイプはオリンピックの種目になっており、見たことのある人も多いと思いますが、スキーのハーフパイプも負けてはいません。両足がフリーであることから、ボードでは見れない多彩な技が繰り出され、見ていて非常に面白い競技です。

オリンピック種目になっていないため、世界選手権大会がこの競技の頂点の大会です。選手たちもこの大会に照準を合わせていますので、最高のパフォーマンスを繰り広げてくれるはずですよ。

日本人選手では、三星マナミ選手・上野雄大選手・畑中みゆき選手等が出場予定です。



三星マナミ 選手

神奈川県横浜市出身  
08ワールドカップ(猪苗代)6位  
ニュージーランドオープン3位  
ハーフパイプ競技日本人女子の第一人者。  
世界選手権でも表彰台が期待される。



上野雄大 選手

長野県野沢温泉村出身  
08ワールドカップ(猪苗代)12位  
08NipponOpen11位  
日本フリースキー界の牽引者として精力的に活動の幅を広げている。